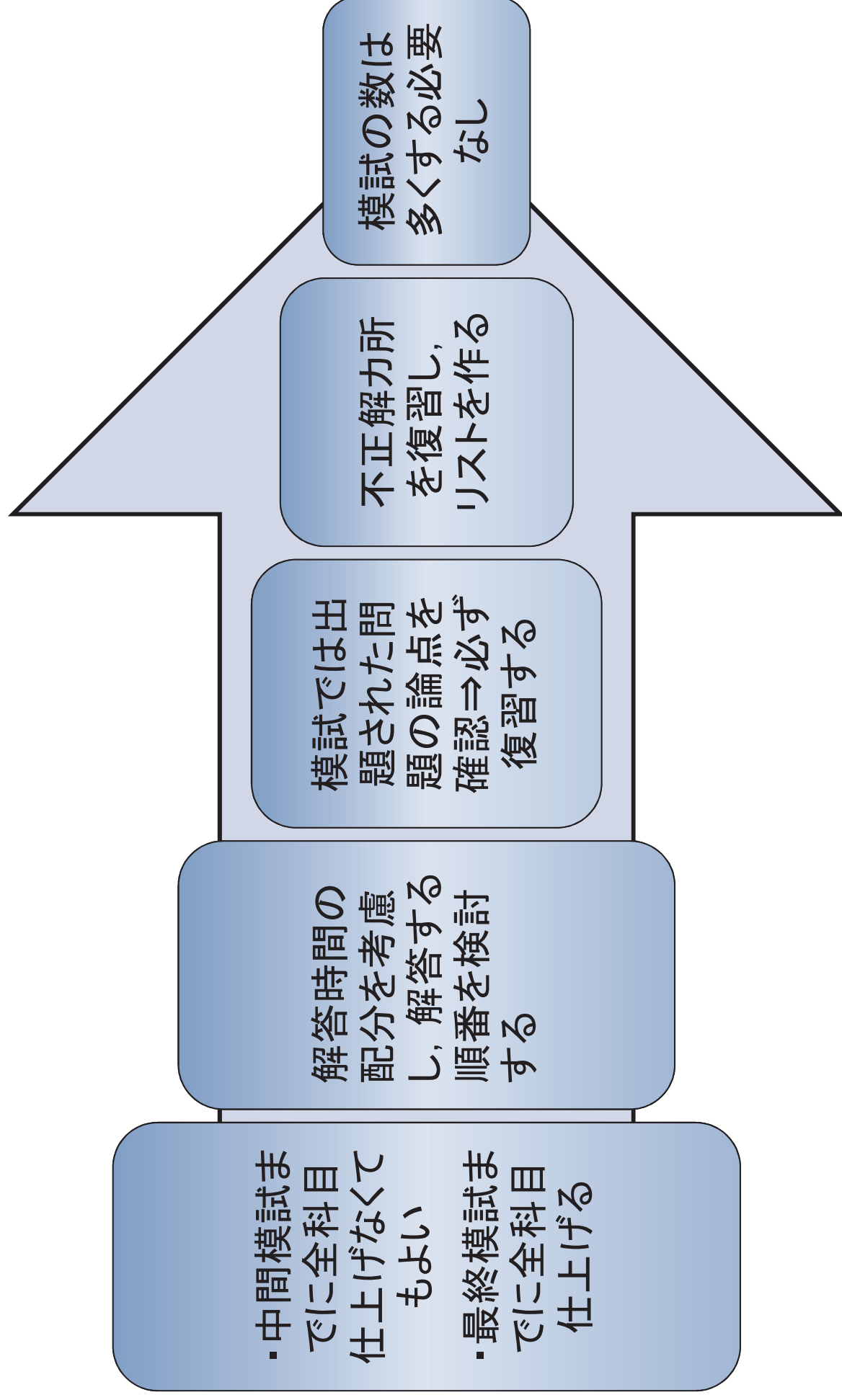
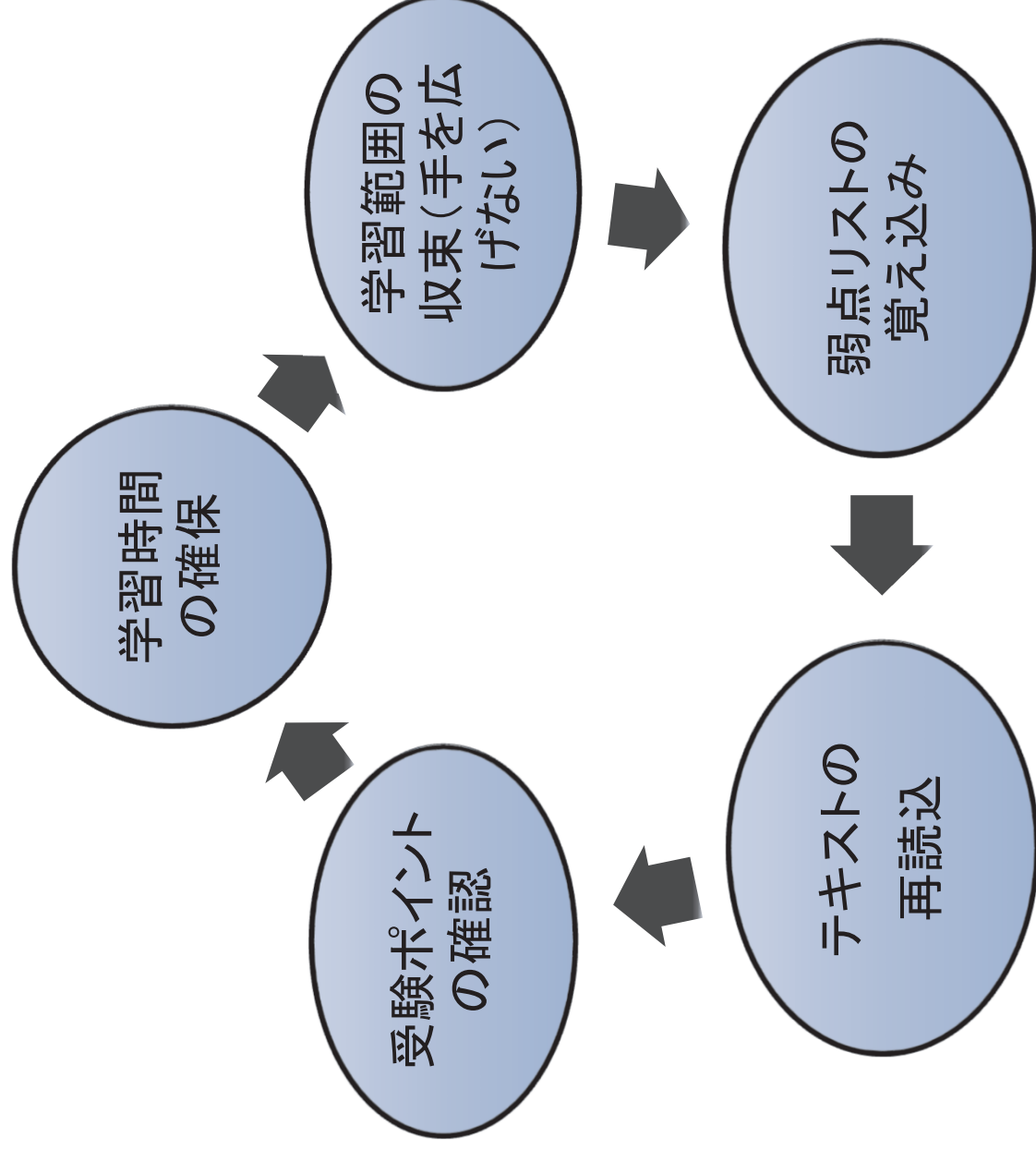


7 中間・最終模擬試験の活用方法



8 直前期(8月)の学習のポイント



9 短期ゼミの活用方法

新横断まとめゼミ

- 労働・社会でインプットした知識が混乱したとき、正確に整理することが必要。共通項目を確認して、得点アップにつなげる。

法改正ゼミ

- 本試験でも出題確率が高く、その年の出題範囲の改正項目の辞書的作用。付録の練習問題を活用して論点を確認。

年金特訓ゼミ

- 苦手な年金2法を受験対策的に攻略するゼミ。基本テキストをコンパクトにまとめた年金ゼミテキストを使用し、受験ポイントを確認して、年金2法で高得点を確保するが目的。

直前総まとめゼミ

- 主要6科目の中で、最優先に学習する15項目をしっかりと押さえることで、本試験でのベースとなる知識を確保する。付録のゼミで安衛法と徴収法の2科目もフォローアップ。

白書統計ゼミ

- 苦手な白書を受験対策的にまとめた講座。白書の読み方や労働経済の数値の押さえ方を習得。選択式対策としても活用。

予定表 A

月別目標 (例示)

月

3月, 4月

<第1サイクル(基本テキスト・過去問のセット学習)を終了することを最大の目標として頑張る!>

3月~4月は国民年金, 厚生年金をメインに学習。年金科目が終了し次第, 残りを社会一般の一部を学習

4月は社会一般と労働一般を終わらせる。通信講座の場合は, 4月末~5月初旬頃が理想

★直前期(7月後半~8月)に向けて, この時期からコツコツと受験ポイントを明記しておくこと(単語カード集を利用している方が多い)

メインの学習は, 中間模擬試験までに労働科目を復習する(第2サイクルで労基法, 労災保険, 雇用保険, 徴収法の4科目を復習)

サブ学習は, 社会保険編(健保, 国年, 厚年の3科目)を復習する

法改正ゼミで改正項目のチェックと問題演習。平成30年は, 雇用保険法・健康保険・年金2法をしっかりとチェック

★直前期(7月後半~8月)に向けて, この時期からコツコツと受験ポイントを明記しておくこと(試験直前期に覚え込みできるように準備)

中間模擬試験の復習

年金2科目をメインにして第2サイクルを実施(2科目を1カ月で消化できるように頑張る)

労働関係をサブで復習する

★直前期(7月後半~8月)に向けて, この時期からコツコツと受験ポイントを明記しておくこと(単語カード集が3個~4個できている)

健康保険の第2サイクルを実施

一般常識対策をする(白書編への取り組み)

一般常識対策をする(白書ゼミの法律編, 問題集への取り組み)

安衛法と徴収法は, 問題中心で復習(過去問, 確認テスト, 模擬試験, 答練を集中的に)

直前総まとめゼミの必須論点のチェック

3月以降に確認事項として記録しておいたポイントを何度も回して記憶する

全科目の法改正項目のチェック(平成30年, 平成29年, 平成28年分)

(優先)中間模試, 最終模試の不正解箇所の見直し, (次点)答練の不正解箇所の見直し

テキストで受験ポイントの総整理。今までに作った単語カードの覚え込み作業

毎日, 年金2法の過去問を5問分から10問分取り組む